



# 高校生模擬議会

将来を担う高校生が、町の最高意思決定機関である「町議会」を体験し、高生生の目線で、町への提言を行う、「高校生模擬議会」が12月7日、役場議場で開会されました。

高校生が模擬議員（議長1人、副議長1人、議員12人）となり、町側も、町長以下、特別職、各課局長が出席し、町議会定例会さながらに、開会から一般質問までの進行そのままに行われ、町長に自分たちの意見や要望を述べる機会が与えられることから、高校生には大変好評です。

町側も、高校生たちの質問に対して、各担当課が町議会における一般質問と同様に検討を重ねた答弁が用意されました。

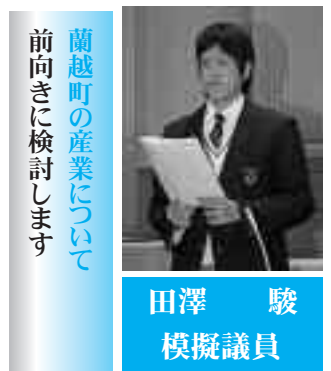
模擬議会は、議長の開会宣言後、4人の模擬議員が一般質問を行い、宮谷内町長が答弁を行いました。（質問と回答の概要を掲載しました。ご覧ください）

およそ1時間にわたる模擬議会を終え、宮谷内町長は「高校生の皆さんが、本日の

議会を迎えるに当たって、町の施策や事業を色々と調べ、研究された成果を4件のご質問にまとめられたことを本当に嬉しく感じ、答弁させていただきました。それぞれの質問からは、蘭越町を魅力ある素晴らしい町にしようという熱意と、人々の暮らしや高齢者の方々を思う気持ちが生かされ、心から感激をしているところがございます。これからも、ふるさと「蘭越」への思いと、ここに住む人々の暮らしを見つめて、より良いまちづくりに向けた提言をいただきますよう心からお願い申し上げます。」と講評を述べました。

模範議事を終え、高校生の方々は、宮谷内町長を囲み、まだ少し緊張した面持ちで記念写真を撮影、無事模擬議会が終わり、ホッとした表情で議場を後にしました。

なお、模擬議会の議事録は、通常と同様に作成し、高校に提供する予定となっております。



蘭越町の産業について  
前向きに検討します

田澤 駿  
模擬議員

らんこし米の「米粉ドーナツ」と「こめっ粉ボール」等の試作開発と、特産品を使った新しいレシピを広報紙等で募集し、町営の施設で調理販売の宣伝協力について。

## 宮谷内町長

町では、地場産の食材を活用した加工・調理技術の向上と食育・加工体験・特産品加工を目的に、「旧林業研修センター」を改修し、「農林産物加工試作・研修施設」として11月にオープンし、多くの町民の方々に利用され大変喜ばれております。この施設は、利用者が持ち寄った材料で、自家製の麺・味噌・豆腐・パンとケーキ・餅・ジャム・惣菜・米粉等を作ることが出来る施設となっております。この施設を町民の皆さんにご活用いただき、試作研究を重ねなが

ら、特産品開発を支援していただきたいと考えております。

ご提案のありました、「米粉ドーナツ」と「こめつ粉ボー」については、レシピを提供していただければ、町の施設で試作してみたいと考えております。また、特産品を使ったレシピを町の広報等で募集することについては、既に各団体等が取り組んでおりますが、今後、町もレシピの募集も含め前向きに検討してまいります

と、町の特産品として商品化された場合には、高校生の皆さんにもPRについてご協力願いたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。



小沢 成二  
模擬議員

屋内ドーム建設について  
現在のところ困難と考えます

蘭越町に屋内ドームを建設してみてもどうかと思いましたが、なぜかというところ、蘭越町をもっとアピールするため

に、屋内ドームを作り、住民の幅広いスポーツ団体の利用ができるようになれば、もっとスポーツに親しみをもち、健康に過ごせると思い提案しました。

宮谷内町長

総合運動公園は、町民や高齢者の方々、中高校生に広く利用いただいております。平成22年度では延べ3万8千人に利用されているスポーツ施設となっております。また、冬期間においても、フットサル大会やゲートボール、グラウンドゴルフを体育館で開催するなど、工夫しながら既存施設を有効に活用しております。屋内ドームの建設は夢のあるアイデアですが、本年度の当初予算が約四十五億円という限られた財源の中で、蘭越町として何を優先してまちづくりを進めていくのかということも大事であります。財源の問題、建設した場合の費用対効果など考えますと、提案のありました屋内ドームの建設は、現在のところ困難で

ありますので、御理解いただきたいと思っております。



高坂 健太  
模擬議員

蘭越町の地域振興について  
関係機関と協議し検討します

札幌で開催している「ミュンヘン・クリスマス市」のよなイベントをオーストリア・ザールフェルト市と姉妹都市提携している蘭越町でも開催し、もっと多くの人たちに伝えるイベントを行うことで、蘭越町が活性化し観光客も増えると思うので提案しました。

宮谷内町長

「ミュンヘン・クリスマス市」は、札幌市大通公園において、毎年11月下旬から12月下旬までの約1ヶ月間開催され、昨年は57万人の来場者があったとのことでございます。他町村から人を多く集め、地域を活性化させ、観光客の増加を目的にイベントを開催するという高坂議員のご提案

はすばらしく、私も同感であります。本町が明るく活気のある町になるためのイベントとして、多数の方が参加できる「ミュンヘン・クリスマス市」のようなイベントは、長期間開催するため協力者の確保等大変難しい問題もありますが、町内関係機関とも今後十分協議し検討してまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。



小林 誉尚  
模擬議員

蘭越町の教育・子育てについて  
ホームページ等を活用します

蘭越高校は、無料送迎バス、給食制などがあります。また資格の半額免除、制服の購入費用補助、オーストラリアホームステイ研修などがあります。蘭越高校存続のため、後志だけではなく、広く道内にPRしてはどうか提案します。

宮谷内町長

町では蘭越高校の教育活動

が充実するよう、平成7年度からスクールバス利用や、蘭越米を使用した給食の提供、国際交流事業などの支援を行ってまいりました。平成17年度には、「蘭越高校を地域とともに考える会」が設立されました。平成21年度からは「教科書購入費全額助成」、「J・R通学費全額助成」、「各種検定受験費用半額助成」の支援を創設し、また、平成24年度からは「制服購入費助成」の制度を拡大したところであり、PR活動につきましても、教育委員会と蘭越高校校長が近隣町村に出向き、きめ細かな特色ある教育課程の取組や、各種助成制度の内容をPRしたチラシを持参し、倶知安町、ニセコ町、黒松内町の各中学校を訪問するなど、生徒の募集活動に積極的に取り組んでおります。

蘭越高校の存続に向けて広く道内にも助成制度をPRするため、町のホームページを活用することも一つの手法であり検討していただきたいと思います。御理解いただきたいと思います。